

地図画像等の活用事例

～地図画像等を活用して主体的・対話的に課題解決を図る～

取組の 難易度	(準備) ★ ★ ☆		
	(教員の I C T 活用能力) ★ ☆ ☆		
校種・学年	小学校・5 学年		教科等 理科
ICT を活用した 学習場面	A1 教員による教材の提示 C1 発表や話し合い C2 協働での意見整理	領域・ 分野等	B 生命・地球 (3) 流れる水の働きと土地の変化
ICT 機器等の 準備等	準備	地図画像、航空写真画像	
	授業	①学習者用 P C (タブレット端末)、指導者用 P C ②提示用大型モニター	

1 事例の概要

小学校 5 年生の「流れる水の働きと土地の変化」の学習において、既習事項を基に実際の地図画像等を活用することで、主体的・対話的に問題解決を行えるようにした。

※利点○、配慮事項●

2 ICT 活用の利点や配慮事項

- 航空写真画像や地図画像として身近な素材を扱うことで、川の水の働きなどに興味・関心を高めさせ、主体性を喚起できる。
- タブレット端末に考えを書き込ませることで思考を促し、それを瞬時に大画面で全体共有できる。
- 画像を使用するときは、企業のロゴを入れるなど、著作権を考慮する。

3 資料

○考えさせたい課題に合った航空写真画像や地図画像を用意した。

※航空写真画像や地図画像が利用できるアプリを使用

○既習事項をふまえて、発展的な課題「三日月湖はどのようにできたのだろうか」を提示した。

○グループごとに、タブレット端末で地図画像に考えを書き込ませることで、思考を促し、視点が明確になった話し合いができるようにした。

○考えの共有場面では、グループの考えを記した画像を大型モニターに映すことで、児童が発表しやすく、全体で効果的に共有できるようにした。

